

柱の少ない大空間を創り出す

RCSイメージ図

概要

「DKOM-RCS構法」は、剛性および強度の高いRC柱と軽量で大スパンを構築できるS梁を組合せることで、許容荷重の大きい大空間を作ることができる構法です。大型の物流倉庫やショッピングセンター、病院や事務所など幅広い用途に適用可能です。

特徴

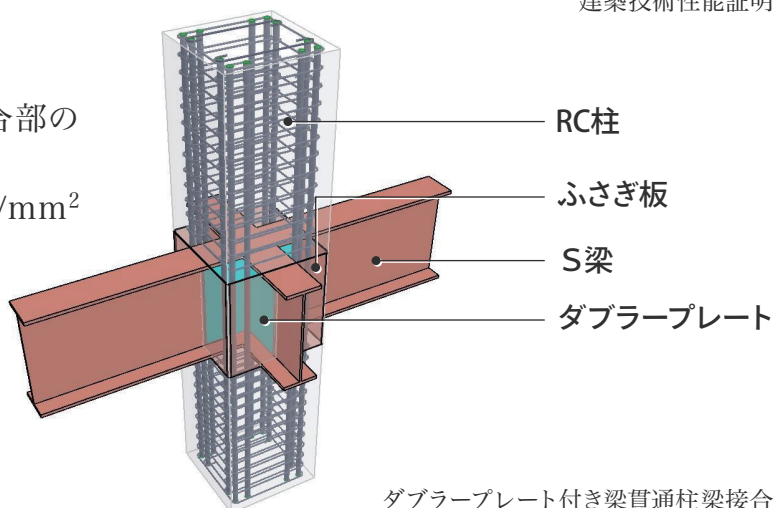
梁貫通型で、ダブルプレートによる柱梁接合部の補強が可能なふさがぎ板形式のRCS構法です。コンクリート設計基準強度 $24\text{N/mm}^2 \sim 60\text{N/mm}^2$ 柱鉄筋SD295～SD490まで使用できます。

信用性

「DKOM-RCS 構法」は、一般財団法人日本建築総合試験所の建築技術性能評価を取得しています。



建築技術性能証明書



ダブルプレート付き梁貫通柱梁接合部

メリット

設計の自由度向上

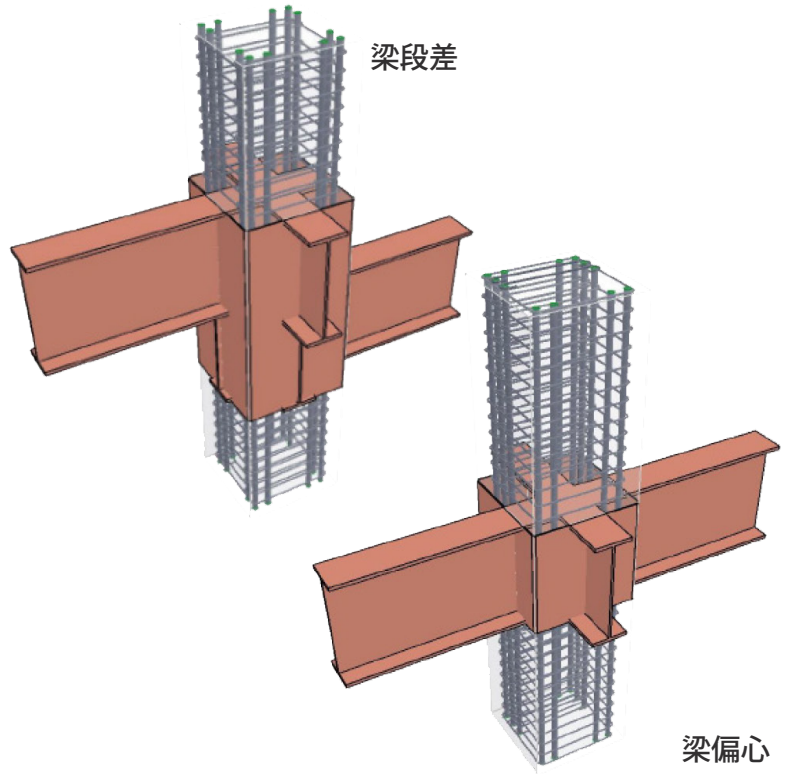
梁段差、梁偏心の接合部にも適用できますので、設計の自由度が大きく向上されます。

現場の省力化向上

柱および柱梁接合部をPCa化することができるので、現場における省力化が図れます。

コストの削減

敷地形状や建物規模に左右されますが、鉄骨構造と比較してコストダウンが見込めます。



DKOM-RCS構法 柱梁接合部例

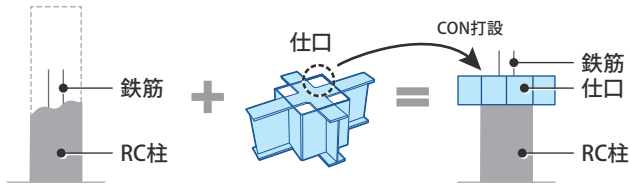
施工方法

「DKOM-RCS構法」は、建物の特性、現場状況などにより以下の4つの施工方法で工事を進めることが可能です。

現場打ち

柱・仕口現場打設

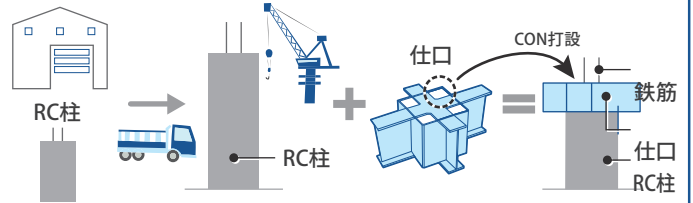
柱に現場にてコンクリートを打設した後、仕口金物をセットし、仕口のコンクリートを打設します。



現場打ち+PCa

柱PCa仕口現場打設

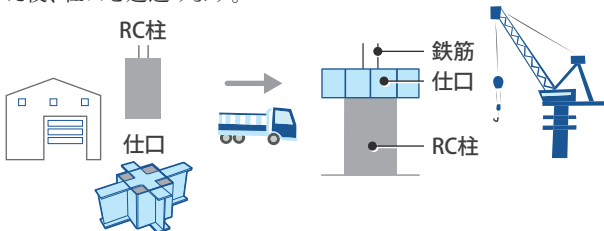
柱はPCa工場で作製したものを現場に建込み、その後仕口金物をセットし、仕口のコンクリートを打設します。



PCa

柱・仕口分離PCa

柱および仕口ともPCa工場にて製作し、現場にて柱を建て込んだ後、仕口を建込みます。



PCa

柱仕口一体PCa

柱と仕口をPCa工場にて一体として製作し、現場にて建込みます。

